

1 お仕事の内容

我々のお仕事は社会の様々なお仕事をスマートに（便利に、簡単に）し、人々の個人的あるいは社会的な活動を手助けするような、仕組み（システム / アプリ）を作ることです。



しかし、このような能力をすべて持っている必要はありません。それぞれを得意とする技術者たちが集まり、プロジェクトを作り上げて行くのです。

2 入社時の3つの教育

マナー・理想の教育 1

まずは社会人としての素養、マナーを身につける教育を受けます。そして会社の理念、制度理解し社会に役に立つ行動を身につけます。

プログラム教育 2

次に、プログラム作成の教育を受けます。情報系学科の方、それ以外の文系、デザイン系学科の方、そしてプログラムの知識がまったく無い方も、全員同じカリキュラムです。

OJT教育 3

そしてOJTのスタートです。プログラミングとテストが、入社したばかりの方のメインのお仕事となります。もちろん最初は簡単なあるいは小さなプログラムです。自分が作ったプログラムが動く感動しますよ！
OJT(On-the-Job Training: 職場での実務を伴う教育)

自分には畑違いだと思う方へ

我々のお仕事は「どうすれば上手くいくのか？スマートになるのか？」ということを考えて「仕組み」を作ることです。そしてその「仕組み」を“道具”であるコンピューターに実行させます。この「仕組み」を考えることができる方がこのお仕事の条件です。「理系はみんな持っている」、「文系は持っていない」ということはありません。モノを作ることが好きな方にとっては文系や理系にかかわらずとても面白くてやりがいのある職種です。

3 プログラム作成 (プログラミング)とは?

コンピューターは様々なデータを扱う仕事ができます。逆に言うと指示がなければ、コンピューターは何をやっているのかわかりません。そのために我々は、「こういうことをしなさい」という指示を出します。これがプログラムです。



レジのシステムのプログラム

- 購入した商品の価格を入力しなさい。
- 入力された金額の合計を計算しなさい。
- お客さまが出したお金の金額を入力しなさい。
- もし価格の合計と同じならレシートを印刷しなさい。
もし多ければ差額を計算しなさい、そしてレシートを印刷しなさい。
- データベースに入っているレジの合計金額に入金額を加算しなさい。

次に、このような命令(プログラム、実際はもっと細かいです)を、プログラム設計書(仕様書)に書き起こし、開発が始まります。

コーディング

プログラム設計書(仕様書)に書かれた内容に従い、プログラムをコンピューターに入力します。

テスト仕様書の作成

テスト仕様書を作成します。これは自分の書いたプログラムがなすべき仕事が正しく実行されるかを調べるものです。

テスト

テスト仕様書に従い、プログラムを実行して結果を確認します。

細かな作業

結果が正しくない場合は、正しい実行結果になるまでプログラム、テスト仕様書の修正作業を繰り返します。

正しい結果がでたら完成です。実は、プログラムを作るのはそれほど難しくありません。(3)のテストこそ、我々がしっかりとやらないといけない大切なお仕事です。

4 入社してからの進路

様々なお客様のプログラムを作っていくと、次第に上位工程である「設計」というお仕事に目が向いていくようになります。そして技術者の次の段階へと移っていきます。(プログラミングを専門職として極める進路もあります。) またお仕事や開発自体にも色々なジャンルがあります。

お仕事を続けていく内に、色々やってみたいことが出てきます。これが技術者のレベルアップです。一つ上のレベルに上がっていくことを実感できるはずですが、そのために、皆さんに希望や目標を聞き、会社はそれに応えます。これが会社の役目であり、技術者と会社が発展していく道筋なのです。

業種に特化した開発

スマホやタブレット等のアプリケーション開発

組み込み系(電化製品のプログラム開発)

お客様への様々なアドバイス、コンサルの実施

データベース、通信等に特化したジャンル

インフラ系の開発

アイデアを出して商品化する開発

お客様ごとの細かな要望に合わせた開発